

「新新」に歌壇が新設され、長年続いた「新新」の小山田氏が退き、各人少々の持論はまげても、猶當せらるるは、磐城歌壇一つ歌壇を築く位の親切心に對時代的なことであつた。...

磐新歌壇新設を祝す 島田忠夫

なつかしき汝を 僕が愛する乙女と呼びて

分析 浦島 須田リ子

彼があれだけの理論的に 頭角を現してゐる限り、 頭角を現してゐる限り、 頭角を現してゐる限り、...

潮聲句會 第四十七集 (岡本機柳撰)

夏草 逸郎 眞砂 常 朝 松 素 秋 夏草や五重の塔の素天邊 夏草の子等かくれ行く夏草 夏草や温泉に行く道の杭より

我が愛人 (一) 野村 進

誰も彼女を愛したとは云 ない。 又、氣のきいた處は餘り 少ない。 其れに何故僕は彼女を愛 するのだらう?

私が愛人 (二) 野村 進

彼女が僕の胸に顔を埋め てシクシク泣いた時 僕は彼女を両手で抱いて 思ふ

時 代

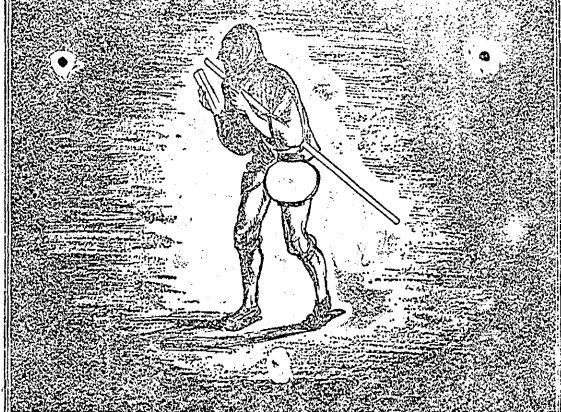
○大丈夫生きて封侯し得ずんば死して焔羅王 となるべし。 (新井白石) 生きて封侯たるの氣概あるべき、同時にそ の實行に當つては人事百般凡ての周到なる 志をもつて書かれてゐる

拈華微笑 理にも嬉しいの すな、なんて來 び腹心の士五六人と共に夜潛伏する殘黨をあり立て

社會の今日 彼の男もとうとう死ん だ。あんなに電燈

お蘭陀お蝶 渡邊 史郎 布 施 長 春 書 平八郎は、骨髄に徹し た山城守其の首級を掲ぐる

光三 日用品値段 △一〇、三〇〇 家庭講座 △六、三〇〇 講演(關ヶ原 合戦に就て) 藤井治左衛 門



油掛町は幸にして類焼の 厄をまぬがれた、が夜にな つては人一個戸外へ出る者 はない、どこでもびたくと 戸締りをして大きな聲で出 さぬ位にひそまり返つてゐ た

拈華微笑 胸を焦がして火 をつけて十七娘 炎暑九旬に亘る 鹿の疲れを流す

社會の今日 彼の男もとうとう死ん だ。あんなに電燈

お蘭陀お蝶 渡邊 史郎 布 施 長 春 書 平八郎は、骨髄に徹し た山城守其の首級を掲ぐる

光三 日用品値段 △一〇、三〇〇 家庭講座 △六、三〇〇 講演(關ヶ原 合戦に就て) 藤井治左衛 門

ガス入電球、値下げ 次々又値下 光三 日用品値段 △一〇、三〇〇 家庭講座 △六、三〇〇 講演(關ヶ原 合戦に就て) 藤井治左衛 門

大谷時計病院 電話十九番 仙臺 JOHK

木村病院 電話一六四番 電話新設 二九八番

難波醫院 醫學博士 難波 睦 平町大町新川端電話五〇二番

白馬の雪營業所 電話二四八五番

お醬油は ヤマフル 山崎合名會社 電話(本館)二七〇番

丈夫デ 金銀高價買入 金光堂時計店 電話一九五

西村屋藥局 優良種子 各種賣出し致しました

